

在宅医療?

ってどうなん?

～最期まで自分らしく生きよう～

11/17

土

新川文化ホール 小ホール

午後2:00~4:30

皆さんは、自分の人生の最終段階(終末期:重い病気や事故等で、適切な医療を受けても治る見込みがなく死期が迫っている状態、6か月程度またはそれより短い期間)において受けたい医療とケアについて、身近な人と話し合ったことがありますか? もし話し合っていないと、病気や事故で自分が判断能力を失い意思表示ができなくなったとき、誰がそれを決めるのでしょうか? 多くは家族が決定しなければなりません、家族間でも意見が分かれ、家族を悩ませる場合があります。自分が自然な形で最期を迎えたいと思っても、家族の都合で延命医療が選択され望まない状態で無理矢理生かされ続けることになるかもしれません。終末期においてもその人の尊厳ある生き方を実現するために、本人の意思が尊重された医療とケアが提供されることが重要です。厚労省と日本医師会は今春より、“ACP:Advance Care Planning”(患者さんの将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて患者さん中心に、その家族や近い人と医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセス)を政策に掲げ、医療現場での普及活動を始めました。ACPは患者さんの人生観や価値観、希望に沿った将来の医療・ケアを具現化することを目標にしています。「できる限りの医療を受け生命を維持したい」「痛みや苦しみを少しでも和らげたい」「延命医療は希望せず穏やかに死を迎えたい」など、判断能力を失ったときに自分に行われる医療内容について、前もって書面で自分の意思を表したものを“リビング・ウィル”と言いますが、日本人で文書で示している人はわずか数%に過ぎません。人生最期まで自分らしく尊厳ある生き方ができるようACPやリビング・ウィルについて一緒に考えてみませんか。

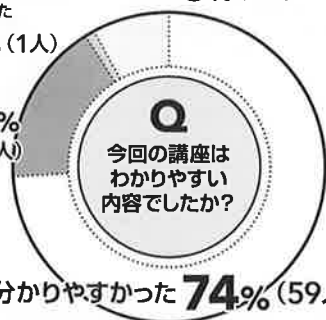
市民公開講座 魚津地区 世話人 みのう医科歯科クリニック 美濃一博

前回参加者のアンケートより (平成28年度開催 in魚津)

あまり分かりやすく
なかった
1% (1人)

無回答 8% (6人)

ふつう
17%
(14人)

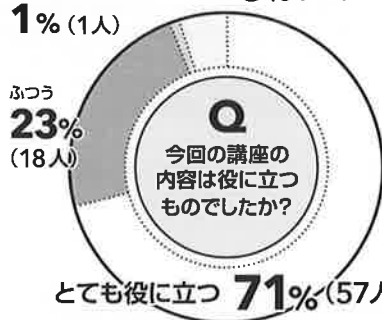


分かりやすかった **74%** (59人)

あまり役に立たない
1% (1人)

無回答 5% (4人)

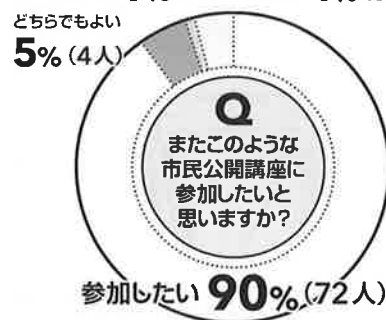
ふつう
23%
(18人)



とても役に立つ **71%** (57人)

参加したくない
どちらでもよい
5% (4人)

無回答 4% (3人)



参加したい **90%** (72人)

会場
案内

新川文化ホール
小ホール

富山県魚津市宮津110



<電車をご利用の場合>

あいの風とやま鉄道「魚津駅」より

・タクシー 10分

・コミュニティバス 15~20分 (200円)

富山地方鉄道「西魚津駅」より約1.5km 徒歩20分



<お車をご利用の場合>

北陸自動車道

魚津I.C.より10分

駐車場800台(無料)

問い合わせ先

【新川地域在宅医療支援センター】

TEL:0765-57-0730

email:shiencenter@lion.ocn.ne.jp

